

第8回Distal Bypass workshop

参加者アンケート結果

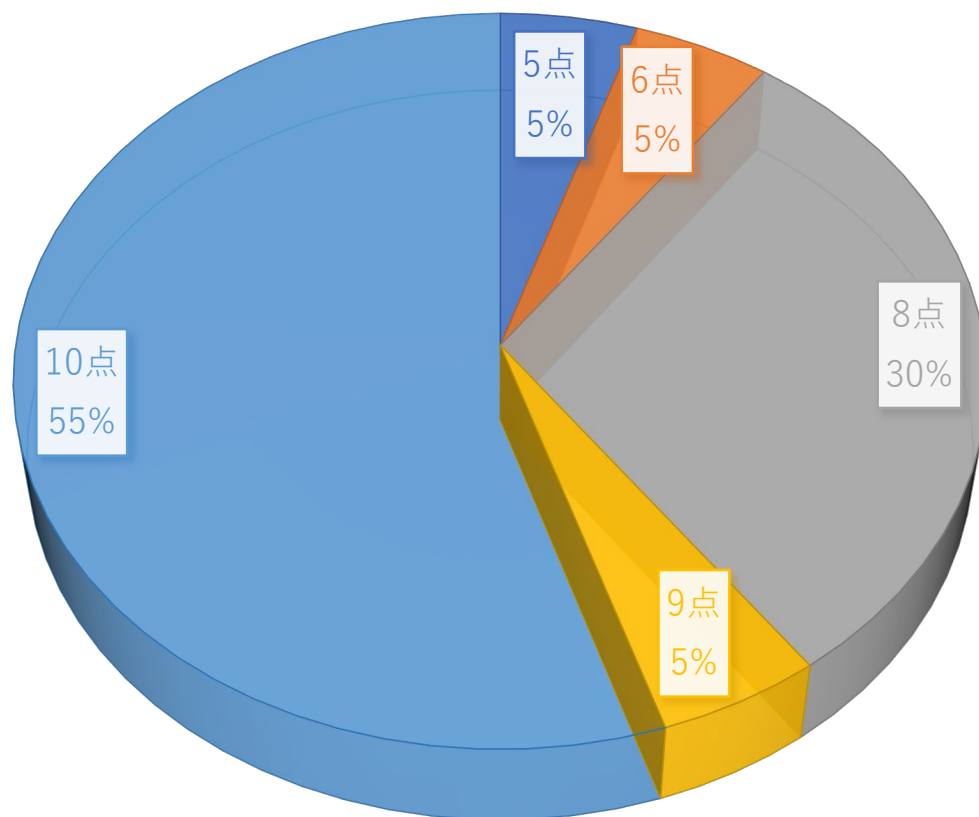
【日 時】 2023年11月4日(土)・5日(日)

【場 所】 ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京

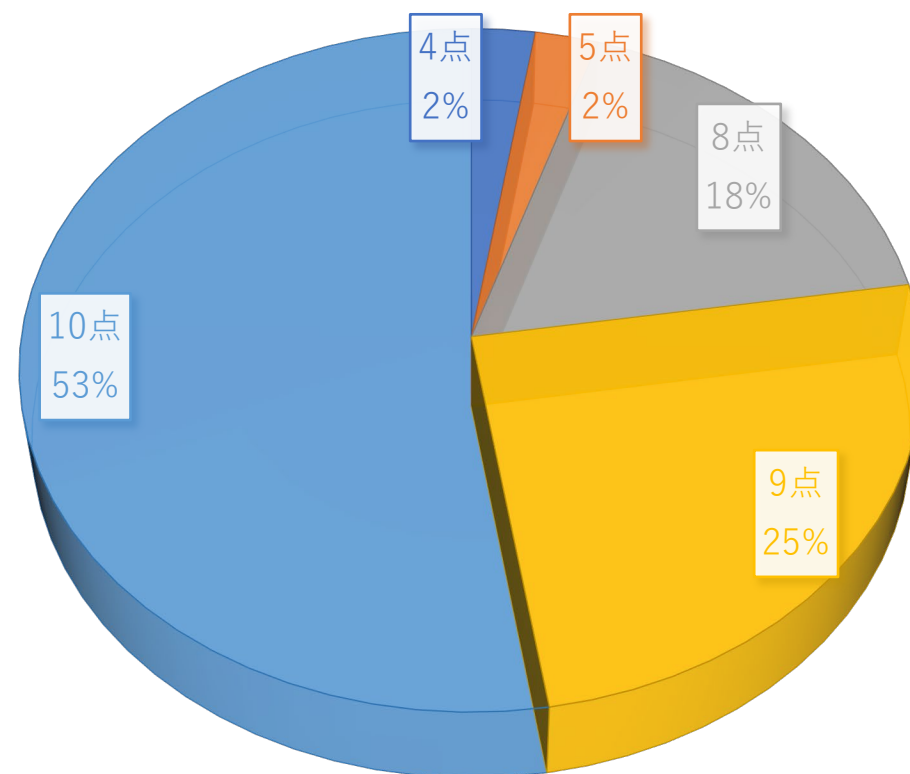
【参加者】 40名

1日目

(1) ランチョンセミナーについて



(2) 「DISTAL BYPASSの為の血管アプローチ」について



(1) ランチョンセミナーについて

- ・ゴア製品の素晴らしさがわかりました。
- ・VIABAHN、Propatenに対する理解が深まりました。
- ・人工血管やデバイスを中心に、最新の知見を知ることができた。
- ・とても勉強になりました。ハイブリッドの考え方の幅が広がった。
- ・食事も美味しく、話も簡潔でわかりやすかった。
- ・Miller cuffの実用的なレクチャーが参考になった。
- ・ミラーカフの手技をみれてよかった。
- ・minorなmiller cuffの話が初めだったので戸惑いました。
- ・スライドが、行ったり来たりしてわかりにくかった。

(1) ランチョンセミナーについて

- 当院ではなかなか経験できない手技だったため、オペ動画を交えての説明が理解しやすかった。
- Distal bypassの経験はほとんどなく知識も少ないが、テキストを読み込み、先生方のセミナーでHYBRID手術やミラーカフの方法を知りさらに理解が深まった。
- Miller cuffについて全く見たことがなかったため、実際のビデオもわかりやすく大変勉強になりました。
- 他施設でのvein cuffの作り方、吻合方法をビデオでみることができ、以外にシンプルな手技で少しハードルが下がったように感じました。
- Miller cuff bypassについて知ることができ、貴重な機会でした。

(2) 「Distal Bypassの為の血管アプローチ」 について

- ・ 露出法がよくわかった。
- ・ ビデオがためになった。
- ・ ビデオがわかりやすく、とても勉強になった。
- ・ グラフトを筋膜下を通す時のコツを教えて欲しい。
- ・ 教えて頂いた点を臨床に活かしていきたいと思った。
- ・ 解剖学的な位置関係など理解できました。
- ・ ビデオの画像で実際に露出している時、術野に近すぎてどこの高さ
でやってるか等の周囲のメルクマールがわかりにくかった。
- ・ ビデオで動脈露出経路についても詳細に見ることができ、大変勉強
になりました。

(2) 「Distal Bypassの為の血管アプローチ」 について

- ・それぞれ全ての血管のアプローチがわかりました。
- ・早く過ぎてしまいイマイチ把握できませんでした。
- ・当院と吻合のやり方が違いました。
- ・それぞれの血管露出の仕方について理解できました。
- ・手術書で分かりにくい部分が動画で見られてよくわかりました。
- ・各動脈のアプローチ法を動画で勉強できました。下腿切断も解剖を意識しながら取り組もうと思います。
- ・さまざまなアプローチ法について動画を交えて講義していただき、イメージしやすかった。

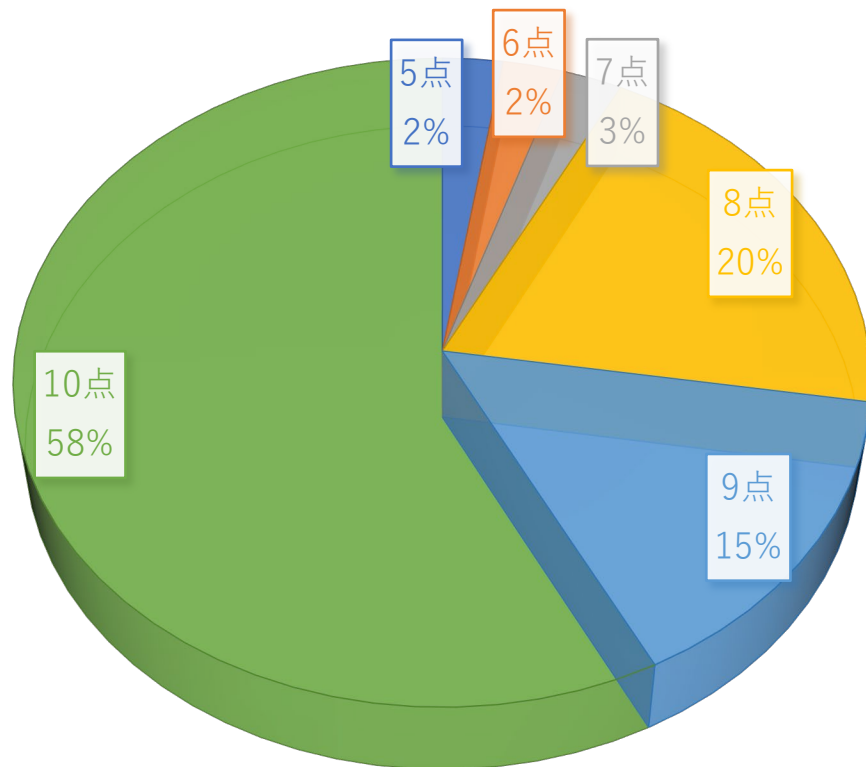
(2) 「Distal Bypassの為の血管アプローチ」 について

- ・血管アプローチのレクチャーを聞いて、さらに理解が深まりました。
- ・実際にもっと皮膚切開から動脈確保までをゆっくり見たかった。
- ・術前に重要血管へのアプローチで毎回確認していたが、出口先生が「あの本を見てもバイパスできるようにはならない」と言われておりなかなかショックを受けました。

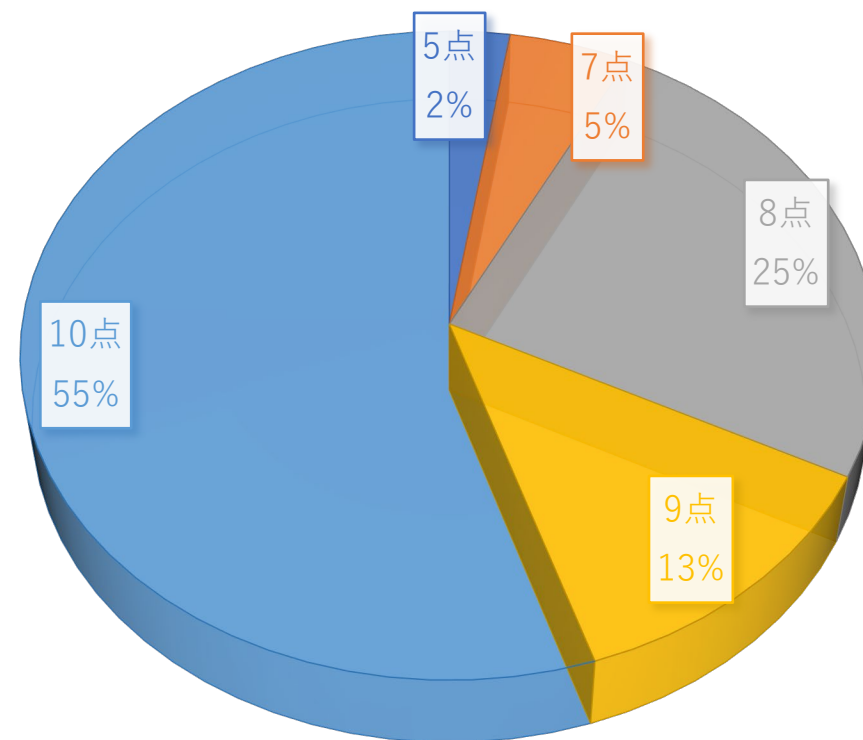
今回隅先生のご講演であったようなある程度簡便なメルクマールをまとめた教科書があるといいなと思いました。ぜひよろしく願いします。

1日目

(3) 「BYPASS戦略の立て方と血管
吻合」について



(4) 「DISTALBYPASSのコツと落とし穴」について



(3) 「Bypass戦略の立て方と血管吻合」 について

- ・ 治療戦略を整理出来て良かった。
- ・ 戦略の組み立て方がよくわかった。
- ・ vein graftの選択や使用方法について理解が深まりました。
- ・ 考え方が難しかったが、とても参考になり、勉強になった。
- ・ 演者の話をきき、そのまま取り入れたいと思いました。
- ・ 知らなかった事を勉強できました。
- ・ svg 神。
- ・ 術前の戦略が重要だということが再確認できた。
- ・ 所属施設にはハイブリット手術室がなく、術中評価はエコーとドップラーのみで行っています。そのため、術前の血管造影で確認しておくべきポイントが整理できました。

(3) 「Bypass戦略の立て方と血管吻合」 について

- Bypass戦略の立て方のレクチャーでさらに理解がった。
- 当院ではなかなかない症例なのでカンファレンスの機会もなく、治療戦略について大変貴重な勉強ができたと思います。
- 吻合部の決定にCTやアンギオばかり見ていましたが、これからは単純写真もしっかり確認しようと思いました。
- 血管吻合について施設によって様々な工夫がされており、バイパスサイトの考え方も勉強になりました。
- これまでパラシュート吻合しかやってきませんでしたでしたが、支持糸をおいて吻合する方法もとても有用で、ほとんどの施設で行われていることを学んだ。次の手術からさっそく取り入れようと思う。

(4) 「DistalBypassのコツと落とし穴」について

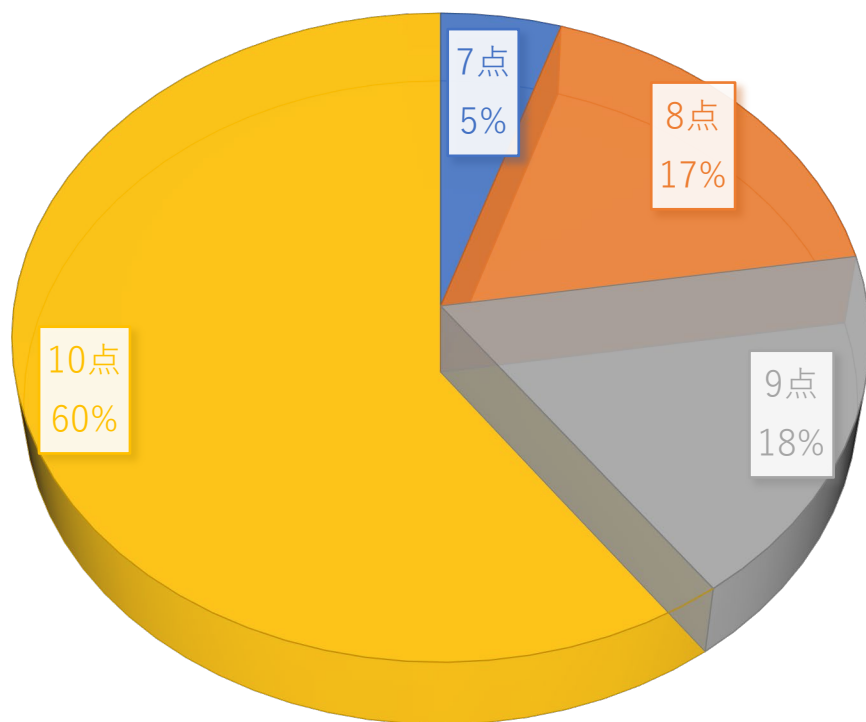
- エッセンスがよくわかった。
- pitfallについて注意していきたいと思いました。
- とても勉強になりました。実践的な内容だと思いました。
- スライドが見やすく面白かったです。
- なかなか落とし穴を学ぶ機会はないので、勉強になった。
- 大変ためになりましたが最後の方が駆け足ではなく、ゆっくりと聞きたかった。
- 凄く良かったけど、説明せずにとばしたスライドがあったので、時間を取ってもっと説明して欲しかった。

(4) 「DistalBypassのコツと落とし穴」 について

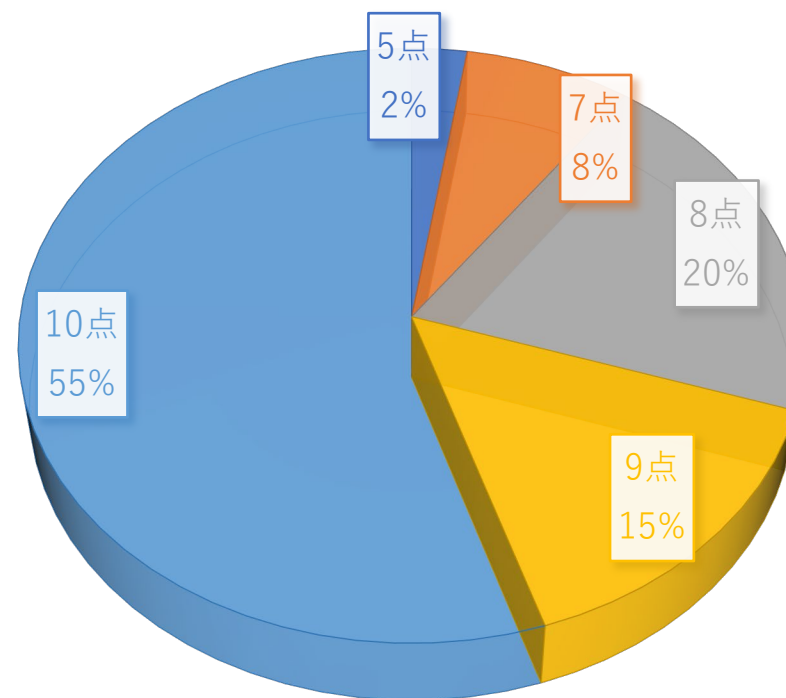
- ・これからするかもしれない手技なので、実際沢山こなしている施設で得られた知見を教えていただき、ためになりました。
- ・静脈グラフトの扱いやバイパス後のシャントの評価などが参考になりました。
- ・ゴム手袋を使った止血法は今回初めて見ました。次の人工血管使用時に使ってみようと思います。
- ・適切な抹消吻合部の選択が大切なことを改めて学びました。
- ・細かい手技の注意点など体系的に勉強できて良かったです。

1日目

(5) 「DISTAL BYPASSの術後評価とREVISION」について



(6) 「DISTAL BYPASSの術後薬物療法」について



(5) 「Distal bypassの術後評価とRevision」 について

- サーベイランスがよくわかった。
- 勇気がでます。
- 術後の外来の参考になりました。
- とても参考になり、勉強になった。
- Distal bypassはいかにrevisionと向き合うか、戦略をどう立てるかが重要なのが分かりました。
- revisionは一定数あるという認識で術後フォローをしていきたいと思いました。
- 何か起きる前のフォローの重用量とその仕方がよくわかりました。
- Failing graftと時期に合わせたrevisionが必要と言うことが良くわかった。

(5) 「Distal bypassの術後評価とRevision」 について

- 3～4割がrevisionは大変だと思いました。
- 術後評価について具体的な数値を用いながら他施設での基準を見せていただいてわかりやすかった。
- revision手術が一定数はあることを知り、閉塞前の適切なフォローアップが大切なことを改めて実感しました。
- 適切なタイミングで追加介入が出来るように、術後フォローが重要なんだと思いました。自院で手術した症例は細やかにケアしていきたい。
- 術後フォローについて具体的な数字をあげて頂いたのですぐに実践できそうです。長期的な指針を患者側へお伝えするのにも役立つと思った。

(6) 「Distal bypassの術後薬物療法」 について

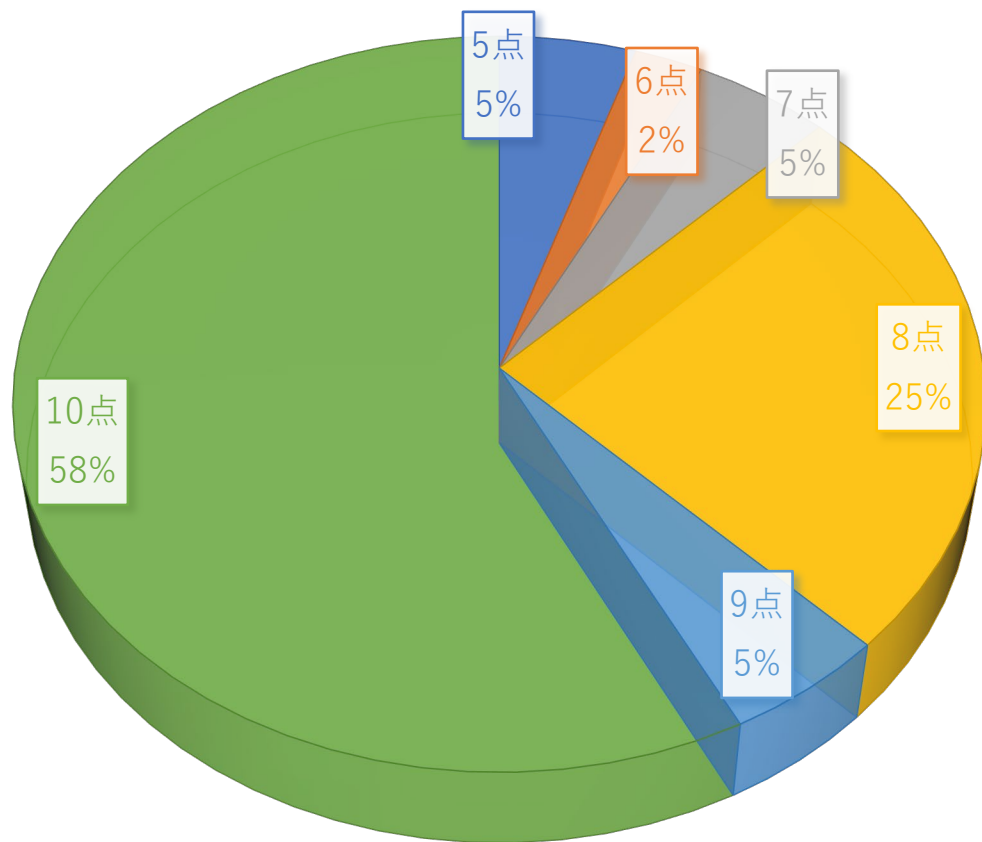
- ・ 知識の整理になりました
- ・ 知識の整理ができました。
- ・ 内膜摘出のみならどうなんでしょうか。
- ・ 外来の参考になりました。
- ・ sapt

(6) 「Distal bypassの術後薬物療法」 について

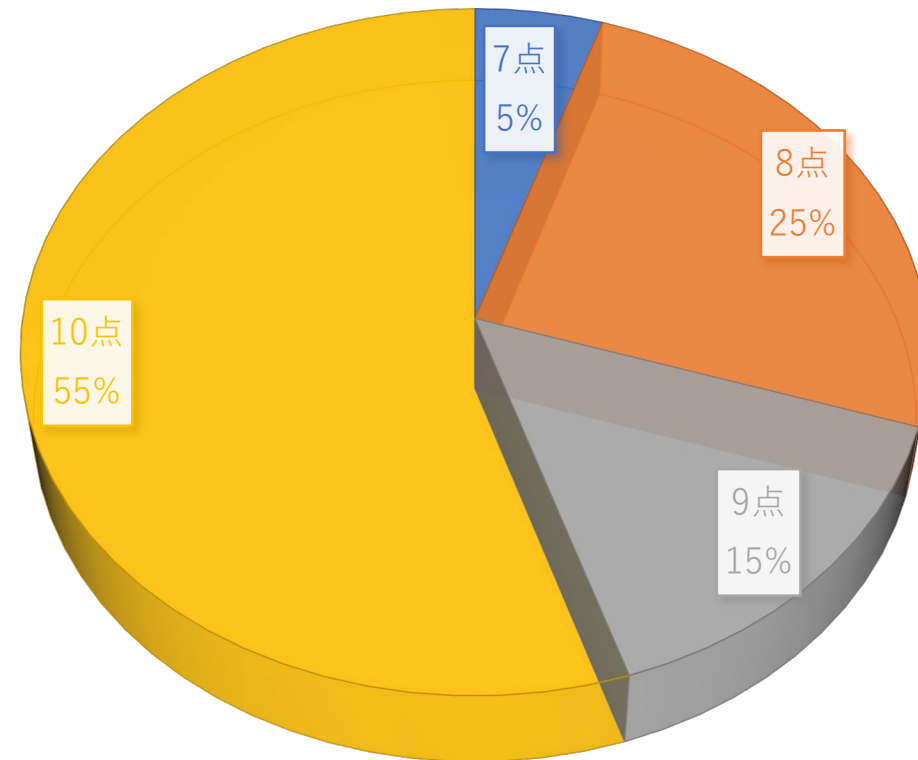
- 考え方がよくわかった。
- バイアスピリンが有効な事はわかった抗凝固療法のDOAC少量って、どのくらい？ワーファリンはダメなの？
- 長期間漫然と外来でwfを使用している方については考えていきたいと思いました。
- 今後は抗凝固薬がSAPTに加わるだろうなど、最新のトピックもふまえた内容で勉強になりました。
- 所属施設のDB対象患者はほぼ透析症例なので、服薬アドヒアランスも考慮するとあまり選択肢がなくついDAPTにしがちでしたが、見直すきっかけになりました。ありがとうございました。

1日目

(7) 「OFF JT」について



(8) 「イブニングセミナー」について



(7) 「Off JT」について

- ・ 色々なコンテンツがあり驚いた。
- ・ 興味ある内容で、面白かったです。
- ・ 発想がすごいと思った。
- ・ いろいろな動画があることを始めて知りました。
- ・ 仕方ないかもしれませんが、ややもらえる時間が少ないように感じます。
- ・ コツコツとトレーニングを積んでいきたいと思います。
- ・ 積極的に取り組もうと思いました。学会ホームページに動画があがっているのは知らなかったです。

(7) 「Off JT」について

- 翌日のwet laboの注意点など参考になりました。
- 今回教えていただいた方法を取り入れて頑張ろうと思いました。
- 血管外科学会Hpから入れるYouTubeは知らなかったなので今後使っていきたい。
- 血管外科学会の会員HPのビデオ等知らなかったなので、教えて頂き、ありがとうございました。
- JCLIMBについてはNCDで知っていましたが、CLiTICALについては存在自体を知らませんでした。早速外来のPCにインストールしました。実際に使っていきます。

(8) 「イブニングセミナー」について

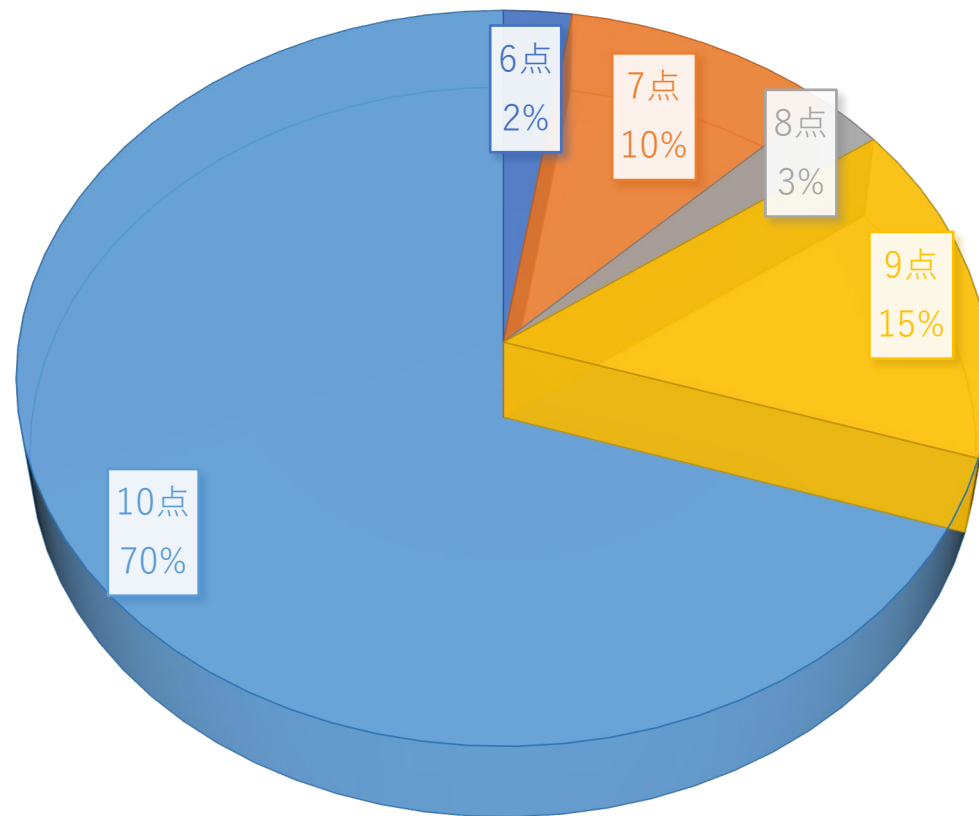
- ・ 弁カッターを使った静脈グラフトが大事な事が良くわかった。
- ・ バルブカッターの使い分けなどもよくわかった。
- ・ ベインカッターの使用方に注意していきたいと思います。
- ・ graftの使用の仕方の各論、とてもためになりました。
- ・ 弁破壊のポイントを知ることができました。
- ・ いろいろな手術のやり方がわかりよかったです。
- ・ ごっそり、ランチョンセミナーで初めにやって欲しかったです。
- ・ 弁カッターはなかなかこわい。
- ・ in situバイパスは経験がなかったので、とても勉強になりました。

(8) 「イブニングセミナー」について

- ・各グラフトの処理の仕方、メリット・デメリットが理解できました。
- ・弁カッターの注意点について改めて確認できて良かった。
- ・レミルズの販売停止を知りませんでした！
- ・弁カッターについてや自家静脈を使う際の考え方など勉強になった。
- ・バルブカッター使用時の注意点について学ぶことができ、よくない使い方をしていたことがわかりました。次回からは安全に使用できるよう、今回学んだことを生かしたいと思います。

1日目

(9) 「ケーススタディ」について



(9) 「ケーススタディ」について

- ・議論が深く参考になった。
- ・血管外科、特に末梢領域は色々な考え方があることを再認識した。
- ・グループワークでもいいのかもしれないです。
- ・自分が考えていたのとは違った意見がたくさん聞け、勉強になりました。深部静脈がグラフトの選択になることも驚きました。
- ・ケーススタディ1、術前DSAを提示して欲しかった。指導的立場の医療機関でも判断が難しい症例がある事がわかりました。
ケーススタディ2、右:静脈グラフト→大腿静脈。良く考えたら当然ですね。勉強になりました。左:アームベインは尺側皮静脈を使う。確かに。何より、distal bypassの目的は足趾～足の潰瘍や壊死の治療が最大の目的だと、言うことが良くわかりました。

(9) 「ケーススタディ」について

- 2例とも非常に勉強になりました。
- 考えさせる症例が多かったです。
- 難しかったです。
- 沢山の意見が聞けて見識が増えました。
- はっきりした正解がないということがわかってよかった。
- 講師の先生でも意見が異なることを知ることができてよかった。
- グラフトの戦略の考え方にはかなり経験が必要でしたが、なんとなくわかりました。
- いろんな意見ややり方があるなと感心しました。ケーススタディはせっかくならグループ作ってカンファレンスのようにやれたら良い。

(9) 「ケーススタディ」について

- ・自分が考えた方針のほかに沢山選択肢があり、参考になりました。
- ・とても難易度が高くわからなかったが解説を聞いて納得でき勉強になった。
- ・非常に勉強になった。講師の先生たちにもいろいろな考え方があるということを知った。
- ・少人数のグループ制にするとより活発な議論ができるようになる気がしました。講師の先生方の考え方を知ることができて大変勉強になりました。
- ・色んな先生方の意見や、自分の考えと照らし合わせて、内容がとても実践的でした。実際は今回のような複雑な症例も少なくないと思いました。

(9) 「ケーススタディ」について

- ・ グループディスカッションがあるとより深く検討できたと思う。
- ・ 事前に症例スライドを頂いて自分なりに考えましたが、グラフが足りなくなってしまう良い答えが出ませんでした。
講師の先生方それぞれの理論を伺い、考え方の幅が広がったように思います。
- ・ 事前に症例をご提示いただいているので、回答も事前に送付するようにして、当日はその結果をまとめたものを元にしてレクチャーが進むと、所属施設ごとの違いなどもわかり、より勉強になるかと思いました。事務局や先生方のまとめるお手間はかかると思いますが、個人を当てていくと時間もかかるし結局みなさん同じような答えなので・・・。

(10) その他1日目に関して

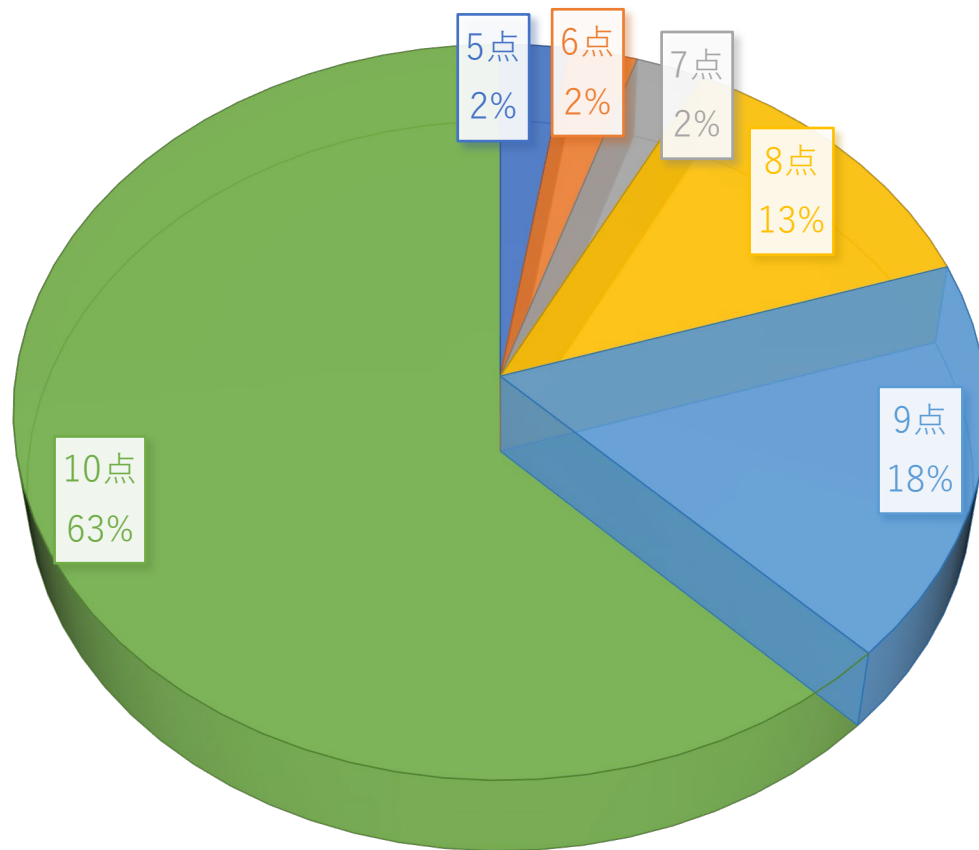
- ・とても勉強になりました。よかったです。
- ・非常に勉強になりました。
- ・大変勉強になりました。難しさも良くわかりました。
- ・大変勉強になります。ありがとうございます。
- ・DBの奥深さを改めて認識しました。
- ・とてもためになりました。これだけでも参加した価値がありました。
ハンズオンもよろしくお願い致します。
- ・元々DBを見たこともなかったので、座学で基本的な知識から勉強できたのは大変ありがたかった。かなりイメージが沸きました。

(10) その他1日目に関して

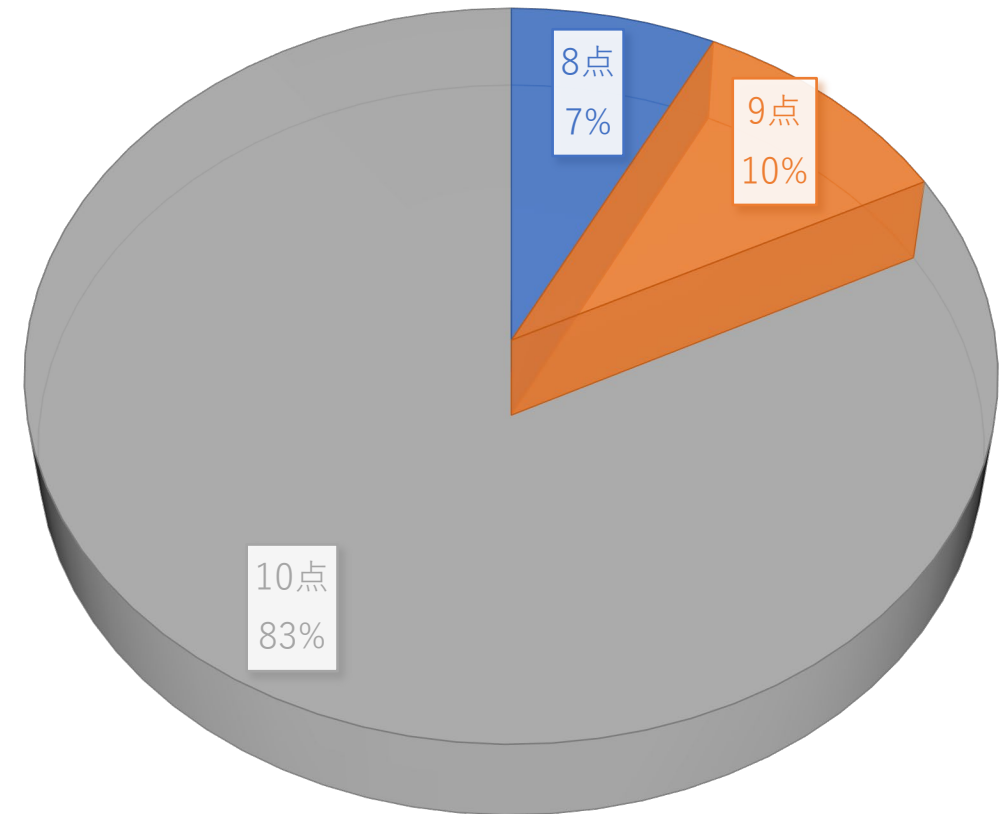
- ・もう少しケーススタディが多いほうが勉強になったように思います。
- ・内容被りが多くて、いまいち講義内容の差が分かりにくかったです。スライド事前に欲しいです。
- ・テキストに沿った内容が多いと思いました。テキストに書いていない内容や、心構え、治療内容を組み立てる上での考え方、症例ベースの内容については非常に勉強になり、ここにもう少し時間をとって欲しかったです。

2日目

(1) DRY LAB実習について



(2) WET LAB実習について



(1) Dry Lab実習について

- いっぱい連続できました。
- 手軽にできそうでやりやすい。
- 植木鉢はとても難しかったです。
- オブザジョブでのやり方がわかりました。
- 今後植木鉢でのトレーニングをして行こうと思いました。
- 思ったより難易度が高く、勉強になりました。さっそく取り入れたい。
- 植木鉢トレーニングは初めてでしたが、実臨床の再現度も高くトレーニングになりました。帰ってさっそく模型を作ります。
- 植木鉢を使った吻合練習や評価アプリは、若い先生たちにも勧めてみようと思います。・アプリで吻合の評価ができることを初めて知りました。日々の練習に活用していこうと思いました。

(1) Dry Lab実習について

- この仕組みを見せて頂けたのは大変良かった。
- 植木鉢法は自主練にも取り入れていきたいと思います。
- 高名な先生方に質問しながらのドライラボはとても有意義でした。
- OffJTについては勉強になった。もっと針、糸、人工血管など豊富にあれば嬉しかった。
- 講師の先生方が積極的で、質問もしやすい雰囲気であったため、とても勉強になりました。
- 植木鉢など身近なものでリアリティのある修練ができた。評価アプリと併せて自施設でも是非とも施行したいと思います。
- Off-JTでもできるように植木鉢等を用いたセットを準備くださり、各施設で取り組めるように教えていただき、ありがとうございました。

(1) Dry Lab実習について

- 数多くの吻合練習ができてよかった。
- take homeで練習できそうになりました。
- せっかく指導の先生もいるのでお手本のようなものも見てみたかったです。
- 鉢の中での吻合が難しかったです。今後、練習に取り入れていきたいです。
アプリ等も教えて頂いて、ありがとうございます。レベルアップのために活用させていただきます。
- 植木鉢を買って帰りました。グラフト同士が内翻してしまう点が難しく複数の先生方に直接ご指導いただきました。山岡先生が言われていたように、キットがあったら絶対売れると思います。個人でも、学生や研修施設でも導入されるのではないのでしょうか？ぜひご検討いただければと思います。

(2) Wet Lab実習について

- svg は偉大。
- 満足しました。
- とても為になりました。
- 電気が2つあれば良かったです。
- 緊張感を持って取り組めた。
- 初めましての相手と共同作業は難しかったです。
- ペアの先生にご指導頂きながら吻合できました。
- すごく実践的な経験を積むことが出来ました。
- 小久保先生からご指導いただくことができ、非常にためになり貴重な経験でした。
- 各グループに講師の先生が着いて、つききっきりご指導してくださったので、満足しています。

(2) Wet Lab実習について

- 楽しい時間を過ごすことができました。
- 非常に実践的に感じました。
- 実際の縫合、タメになりました。
- なかなかうまく行きませんでした。
- 血栓でバイパスの吻合評価ができなかったが実際手を動かして学べてよかった。
- 生体での大型動物のラボは初めてでした。講師の先生につきっきりで教えていただき、とても勉強になりました。
- なかなかまだ自分でDBを執刀する機会がない中で、とても充実した時間を過ごすことができました。
- 血栓でしやすいcaseでしたが、吻合し直して、flowも得られて良かったです。いつもはパラシュートで吻合していましたが、今度toe側は結節でもtryしようと思います。

(2) Wet Lab実習について

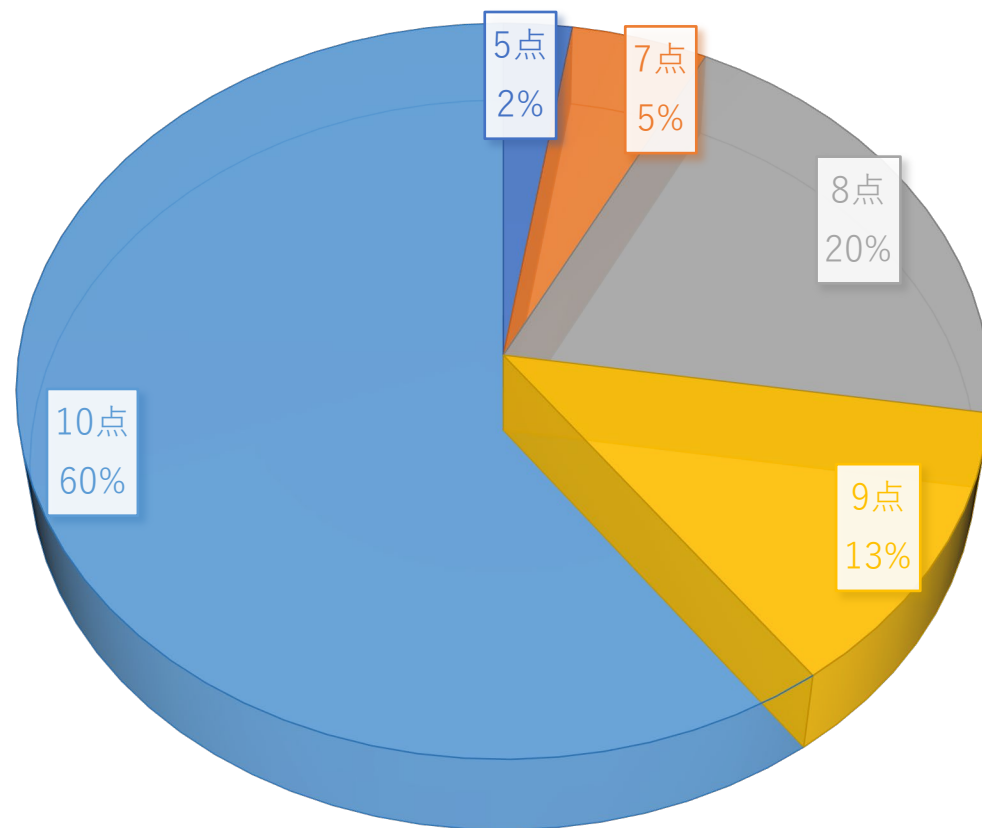
- 他施設の吻合法など学べてとても参考になりました。
- 実際の稼働している動脈を使用しての吻合練習はとてもよかったです。緊張感もあって良い研修ができました。
- 人間と解剖が異なるものの、分枝の走行や血管壁など実戦しながらに手技の練習ができました。吻合後の評価も全身麻酔下ならではの緊張感がありました。とても貴重な経験でした。
- ブタの静脈壁は薄く、吻合がとでも難しく感じました。やり方の違う他施設の先生と手術をするということ自体も、学ぶことが多くとてもいい機会になりました。
- 時間の制約や提供いただける豚の個数はあると思いますが、中枢末梢ともに吻合できればな、と感じました。

(2) Wet Lab実習について

- 下肢チームでしたが、静脈がたいへん薄く、ヒトの上肢皮静脈よりも薄い印象で縫合が非常に難しかったです。
- グラフト採取からのwet laboは初めてでした。吻合練習だけならdryでも可能ですが、グラフトの採取範囲、動脈の吻合・遮断部位の決定も行うことで、手術を組み立てる良い練習になりました。私自身は実際の手術計画を立てることも多いのですが、より若手の先生方にはさらに貴重な機会であったかと思われます。吻合自体の技術はもちろんのこと、初対面の先生と組んでスムーズに手術を進める技量も必要であり、改めて力不足を実感しました。これから術者になる多くの先生方に経験してほしい実習でした。

2日目

(3) ランチョンセミナーについて



(3) ランチョンセミナーについて

- ・気をつけて傷管理します。
- ・創部のチェックを看護師と考えていきます。
- ・足部潰瘍や壊死を率先して診て行こうと思いました。
- ・もう少しゆっくり聞きたかった。メモが間に合わなかった。
- ・とてもわかりやすく、シンプルに創管理の、理解が深まった。
- ・具体的に何人くらいの入院患者を診ているのか分からなかった。
- ・血管外科医たるものの創処置に責任をもつことの大切さを再認識できた。
- ・他施設での創処置の実際を知ることができてためになりました。
- ・創傷処置に大変興味があったので、どのような創に対して普段どのように処置するか参考になりました。
- ・すごく参考になった。抗生剤の使い方、肢切断の方法、植皮、皮弁などについてもっと細かく教わりたと思った。

(3) ランチョンセミナーについて

- ・創傷治癒遅延はよく遭遇する合併症です。軟膏の使用法など再確認できました。血管外科医が責任を持って主導して治療にあたるという考え方には大いに賛同いたします。
- ・創部処置における医師の役割を明確に説明いただきありがとうございました。当院でも改善していきたいです。
- ・創を自分で治すという強い覚悟を持ってCLTIを向き合おうと思いました。ただ分業は重要だなとも思い自施設でも検討しようと思いました。
- ・創傷治癒も含めて考える事が大事なのは間違いないですが、それには、組織改革も必要であると感じました。distal bypassを実施していくに当たっては、そこまで含めてやっていかなくてはならない。それはそれで、実施導入が可能な施設は限られるのではないかと感じました。

(3) ランチョンセミナーについて

- ・ 外科医が責任をもって最後まで創部の管理をしていくことや、コメディカルの協力体制等が素晴らしいとおもいました。
- ・ NPWTは多用していますが、その後の処置への以降や患者指導が難しく創部の問題のみで入院期間が長引くことも多いですが、コメディカルの活用で業務分散している点などは大変勉強になりました。年齢や家庭背景などでいろいろできない患者も多く、まずは軟膏の簡素化など取り入れて行きたいと思いました。
- ・ 足趾の治癒まで責任をもって診療するという、小久保先生の熱いお話を聞き、自分の考えはまだまだ甘いと感じました。普段は外来や手術で忙しく、傷を自分で見る時間がないことが悩みでしたが、江戸川病院では病棟ナースとの関係性もうまく構築しておられ、当院でも取り入れていきたいと思いました。

(4) その他2日目に関して

- ・非常に充実した日程でした。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・やや苦手意識がなくなりました。
- ・上記の通り、Wet Labをもう少ししたかったです。
- ・使用する機材がスムーズに確保できずに手間取ってしまった。
- ・去年は抽選に外れましたが、今年は参加が叶い大変良かったです。ありがとうございます。
- ・ラボの時に講師の先生方に質問しやすかったので、昨日の懇親会に参加してもっとお話を聞けばよかったと思いました。事前に知っていれば、宿泊先も考慮したと思います。また別のワークショップに参加する際には積極的に参加したいと思います。

(4) その他2日目に関して

- とても有意義でした。
- 大変有意義な時間でした。
- とても良い刺激になりました。ありがとうございました。
- wet labo, dry laboともに非常に有意義な時間でした。
- 2日間を通して講師の先生方には熱心にご指導いただき、ありがとうございました。
- 普段なかなか言語化、数値化されたものを学ぶ機会がない手技的な面を細やかに指導いただけて、非常に充実しました。
- ずっと吻合していたのでよかったです。吻合も大切ですが動脈を同定し吻合できる状態にするまでの過程の実習ができると良いのですが、なかなか難しいですね。腓腹動脈を出すのに苦労することがあります。

(5) 開催日、申し込み方法等ワークショップの運営について

- とても円滑な運営、ありがとうございました。
- 土日、祝日で開催日は良かったです。申し込み方法、運営もとても良かったと思います。
- 思っていたより参加人数が多く、意見交換は少ししにくいと思った。事前の連絡や準備等、運営については丁寧な対応をしていただきありがとうございました。
- 私は関東なのでそれほど不都合はありませんでしたが、やはり地方からこられていた先生は大変そうでした。参加希望者も多いとのことですので、今後は座学はオンラインにして、2日目のラボのみを地方ごとの拠点病院や大学などで別々に開催などできるとより多くの先生方に裾野が広がるかもと感じました。

(6) テキストに関して

- ・まとまっていてよかったです。
- ・事前学習をするために大変有用でした。
- ・教科書的でない部分を作って欲しいですね。
- ・簡潔にまとめられて良いです。QRコード等で動画と連動するなどしていただけるとさらに良いと思います。ご検討ください。
- ・DBというひとつの手術法に特化した教科書はあまり見ない（他にない？）ので、今後も改訂を重ねて続けて出して頂きたいです。